



# さいたまこどもエコ検定2025に チャレンジしよう！（中級）

## 解答集

1

地球温暖化は二酸化炭素がふえることによって進んでしまいます。この先地球温暖化がさらに進むことにより日本で起こってしまうと予そくされることのうち、**まちがっているもの**はどれでしょうか。



☐ 海の生きものが死んでしまう

☐ 作られるお米の量がへる

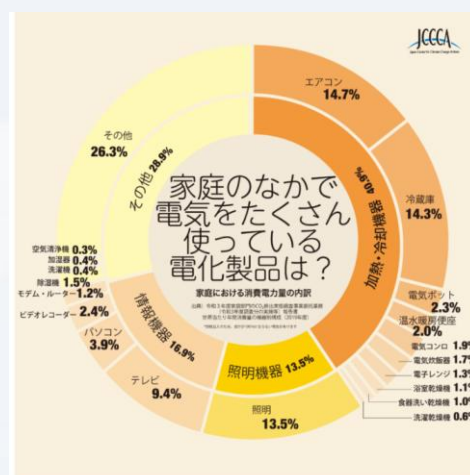
☒ 災害（さいがい）がへる ✓

### フィードバック:

地球温暖化が進むと、次のような問題がおきてしまいます。・海水の温度が高まり、生きものへのきけんせいが高まる・大雨がふえ、台風が大がた化する（海水の温度が高まり、台風のエネルギー源となる水じょう気がふえるため）・あつさによって、熱中しようにかかるきけんせいが高まる どうしたら、二酸化炭素をへらしていけるか、いっしょに考えていきましょう！ 私たちができることとして、・かでんや照明をつかわないときは消す・夏はすずしく、冬はあたたかく、気温に合わせた服装を選ぶ・シャワーを出す時間は短くする などがあります。身近なことからできることをさがして、今日からはじめてみましょう。

2

おうちの電化せい品の中で、**一番電気を使うもの**はどれでしょう。



☐ パソコン

出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

☒ エアコン ✓

### フィードバック:

家庭の中で電気をたくさん使っている電化せい品のランキングを見ると、1位 エアコン 14.7%、2位 冷蔵庫 14.3%、3位 照明機器 13.5%、4位 テレビ 9.4%、5位 パソコン 3.9%となっており、これら4つの合計で半分以上をしめています。エネルギーを無駄なく、上手に使うための省エネは、ちょっと工夫をすることで、みなさんにもできることがたくさんあります。冷蔵庫の中にたくさんの物を入れないようにし、ドアのあけしめを少なくすることで、ものを冷やすエネルギーを少なくすることができ、省エネになります。エアコンを使う時は、カーテンをしめたり、できるだけみんなて同じ部屋にるようにすれば、使う電気をすくなくすることができます。

☐ テレビ

令和4年度に日本で1年間にすてられた食べ物のごみ（食品ロス）を、国民一人あたりで考えると「おにぎり約1個のご飯の量に近い量（約110グラム）」を何日に1回すてていることになるでしょうか。



☒ 1日

#### フィードバック:

令和4年度における食べ物のごみ（食品ロス）は472万トンでした。この量は国民一人あたりで考えると毎日「おにぎり約1個のご飯の量に近い量（約110グラム）」をすてていることになります。お店での売れ残りや家庭での食べ残しなど、1年間にこんなにもたくさんの食べ物がすてられています。食品ロスをへらす取り組みは様々なところで進められていますが、私たち一人ひとりの行動がとても大切です。食品ロスをへらすために私たちができることは、・食べ物を買うときは手前においてあるものを買う・外食するときは食べきれる量を注文する・外食中、食べ物を残してしまいそうになったら、持ち帰れないかお店に相談する さいたま市では、「Saitama Sunday Soup（サイタマ サンディ スープ）」として使いきれない野菜を日曜日にスープにして食べようといった活動や、家庭であまっている食品を「フードドライブ」として回収し、ふくししせつなどに寄付（きふ）しています。世界には食べ物がなくこまっている人たちがたくさんいます。一人ひとりが食べ物を大切に、すべての人が食べ物にこまならない、ゆたかな社会にしましょう。

☐ 7日

☐ 30日

しっかりと分別され、回収されたびん（カレット）は、しせつで異物を取り除き白（透明）、茶、その他の3種類の色に分別されます。分別されたカレットの中でまた同じびんに生まれ変わることができないのはどれでしょうか。



☐ 白（透明）

☐ 茶

☒ その他

#### フィードバック:

使い終わったあきびんを砕いてつくるカレットを、新しいガラスびんの原料として利用することで、白（透明）カレットは透明なびんに、茶カレットは茶色のびんに再生することができます。しかし、緑色や色々な色が混じってしまうその他カレットは、同じ色のびんには再生できないため、建設資材などに再利用されます。選別をすることによっていろいろなせいに作り変え、資源を最大限有効活用できるよう資源化しせつで選別作業を行っています。ごみは、分別することによって資源化されるものもあり、ごみをへらすことができるので分別は大切です。

びん・かん・ペットボトル・容器包装（ようきほうそう）プラスチックはリサイクルができる〇〇物です。〇〇には何が入るでしょうか。

## (びん・かん・ペットボトル・容器包装プラスチック)



☐ 無限（むげん）

☒ 資源（しげん）

#### フィードバック:

びん・かん・ペットボトル・容器包装（ようきほうそう）プラスチックは資源物（しげんぶつ）です。さいたま市では、資源「ごみ」と言わず、資源「ぶつ」と呼び、資源物のリユースやリサイクルなどようこう活用を進めています。きちんと分別して回収に出すことでふたたびせいに生まれ変わることができる「資源」になります。例えばスチールかんは鉄きんや鉄道のレール、アルミかんはアルミサッシや自転車のパーツなど様々なものに活用されています。また、ゲーム機やけいたい電話などの小がた家電も区役所や図書館など市内54か所のしせつで回収していますので、お家で不要になったものがあれば、ぜひお持ちください。

☐ 有機（ゆうき）



次の写真は、市内で身近に見ることのできる生物ですが、一つだけ、もともと市内に生息していなく、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物（外来生物と言います）がいます。外来生物はどれでしょうか。



☒ オカダンゴムシ ✔

**フィードバック:**

正解はオカダンゴムシです。ニホンミツバチとオオカマキリは日本国内に広く分布する在来種（ざいらいしゅ）です。オカダンゴムシは、庭先等でよくみるおなじみの生きものですが、ヨーロッパ原産の外来種で、明治時代に入ってきたものだそうです。日本には、ほかに在来のダンゴムシがいますが、山おくや海岸の近くに生息し、オカダンゴムシほど身近な生きものではありません。外来生物の中には、日本の生たいけいや農作物への悪いいきょうや、人間にけがを負わせてしまうようなききな生物もいます。特にいきょうが大きいものは特定外来生物（とくていがいらいせいぶつ）に指定されて、これ以上数がふえないように対さくが進められています。外来生物は、「入れない」「すてない」「ひろげない」の3つが大切とされています。生たいけいは、長い時間をかけてつくりあげられたバランスによって成り立っています。ペットや、つかまえた生きものを違う場所ではなしたりしないようにしましょう。参考：<https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/eye/20220720.html>



☐ ニホンミツバチ



☐ オオカマキリ

水道の水をそのまま飲める国は、世界で何カ国あるでしょうか。

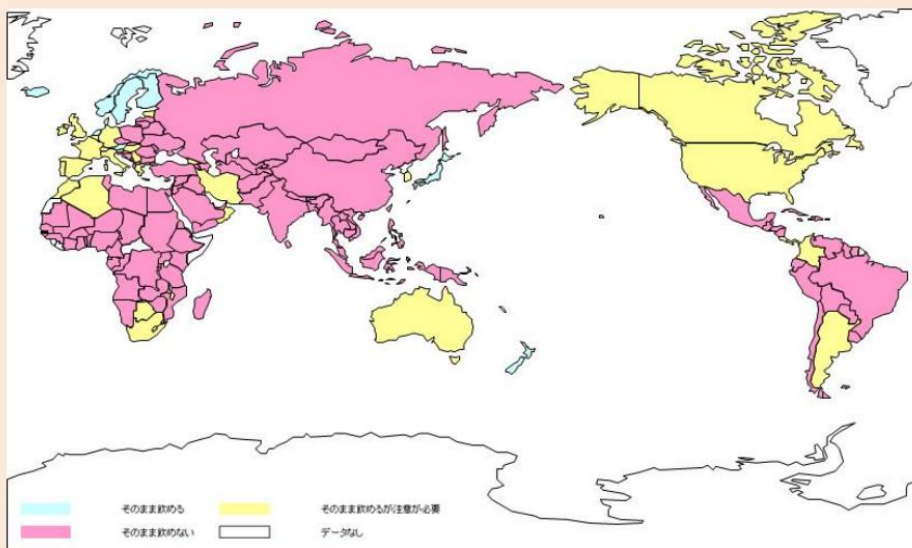
☒ 9カ国 ✔

**フィードバック:**

令和6年11月時点で水道水を安全に飲める国は世界に9カ国しかありません。しかもそのほとんどがヨーロッパの国々で、アジアでは日本だけが水道水が飲める国となっています。地球は「青いわく星」と言われるように、表面の70%が水でおおわれています。しかし、地球上の全ての水のうち、私たちが使える水は約0.01%しかありません。500mlペットボトルが地球上の水全部だとすると、水道の水として使える水は、目薬1てき分位しかありません。このわずかな水を、人、動物、植物みんなで分け合っています。また、世界の4人に1人が安全な飲み水をかくほできていないとも言われています。私たちがなにげなく使っている水も、かぎりあるしげんのです。また、私たちのもとに水がとどくまでにはじょう水場や水を送りどけるポンプなどでたくさんの電気が使われています。水を大切に使うことは省エネにもつながります。かぎりある水をこれからも使いつづけるために、私たち一人ひとりに何ができるか考えてみましょう。シャワーを出す時間を短くする、水を流したまま歯みがきをしないなど、身近なことからはじめてみましょう。参考：<https://www.city.saitama.lg.jp/001/006/002/047/006/p003218.html>

☐ 75カ国

☐ 150カ国



(注) 1. 2024年11月時点の外務省ウェブサイト「海外安全情報」・「世界の医療事情」及び2024年11月時点の「地球の歩き方ホームページ」(URL:<https://www.arukikata.co.jp/>)の情報をもとに、国土交通省水資源部作成

図7-1-7 世界の水道水の現状

出典：国土交通省ホームページ